

## 日本薬剤学会(APSTJ)ニュース

「製剤の達人」の称号を授与

Master Pharmaceutical Technology



▲第22年会会場



▲「製剤の達人」の受賞者

## 「製剤の匠」が一堂に会す

5月21~23日の3日間,埼玉県の大宮ソニックシティ で開催された日本薬剤学会第22年会で、製剤技術の伝承 に対する高い貢献度が認められた12人に「製剤の達人」 の称号が授与された。

本称号は、製剤技術や製剤研究の発展に貢献した製剤 技術者を顕彰するため、日本薬剤学会が新たに設けたも ので、今年から同学会が始めた製剤技術講習会「製剤の 達人による製剤技術の伝承 | シリーズの第1回目「固形 製剤の製剤設計と製造法」の講師陣に対して贈られた。 授与式では粉砕,造粒,コーティング,包装まで一連の 製剤設計の「達人たち」が一堂に会した。

本講習会は、改正薬事法施行によるアウトソーシング の活発化に伴い、製薬企業内の製剤設計および製造技術 の蓄積,継承が困難になっている状況を危惧する声の高 まりを受け、日本薬剤学会内に発足された「製剤技術伝 承委員会 | により企画され、東京・大阪それぞれで全6 日間12コマ開催された。

「製剤の達人」の称号を授与された1人である京都薬 品工業の槙野正氏は、「『製剤の達人(Master Pharmaceutical Technology)』という名誉ある称号をいただき、 大変感謝している。達人とは、夢と執念と意地を持ち続 ける人のことだと考えている。技術の伝承は2007年問題 の1つであり、製剤技術のエキスパートによる伝承によ って匠の技が伝わり、人材の育成に役立てればと思う。 今後も『伝承』に携わっていきたい」と述べ、今後の製 剤技術伝承への意気込みを示した。

5月31日に大阪で開催された「固形製剤の製剤設計と 製造法 | の最終回となった第6回目のテーマは難溶性医 薬品の製剤設計および包装設計であったが、参加者から は「実践で役立つ知識が得られた」「講習内容を書籍や DVDにしてほしい」などの声が寄せられたという。

日本薬剤学会会長の橋田充氏は「本講習会の目的は, 製剤設計の合理的な考え方を伝授すること、また製剤の 基礎理論がわかった上で処方設計ができ, 製造機械が使 える能力を養成すること。充実した講習会内容に対し参 加者から大変好評をいただいており、今後も学会として



## 日本薬剤学会(APSTJ)ニュース⑥

「製剤の達人」の称号を授与

製剤技術の伝承に貢献していきたい」と語る。

今後は注射剤、皮膚・粘膜吸収剤などをテーマに講習 会を開催していく予定であるという。

## 薬剤学関連学協会の連携強化へ

第22年会のポスター会場では、今回初の企画として日 本PDA製薬学会,製剤機械技術研究会,ISPE日本本部, 医薬工業協議会, 日本製薬工業協会などの薬剤学関連学 協会の活動内容を紹介する展示が行われた。これは薬剤 学関連分野の相互連携を強化し,情報の交換および発信 を行うことを目的に日本薬剤学会が中心となり「薬剤学 関連学協会連絡会議」を組織したことがきっかけ。同会 議には、約10の関連学協会の代表者が出席し、日本薬剤 学会ホームページを介したネットワーク構築, 産官学連 携に向けた取り組みなどが検討されている。その会議の 議論のなかでネットワーク構築に向けた活動の第一歩と して, 本年会でポスター展示を行うことが決定された。

会長講演で橋田氏は、「日本薬剤学会が昨年4月に社 団法人化されたことから、より活動の幅を広げることが

可能となった。またFIP(国際薬学連合)の学術部門であ るBPSにおいてもわれわれは重要な位置を占めている。 医薬品を取り巻く環境が急速にグローバル化している中, 関連学協会が情報を共有し、また薬事行政当局と連携す ることはわが国の医薬品産業が発展するために必須の課 題。日本薬剤学会が共通のプラットフォームを提供し, これらの課題に取り組むことができればと考え,薬剤学 関連学協会連絡会議の設置を提案するとともに, 年会で の産学官連携シンポジウムの開催を企画した」と述べ, 日本薬剤学会の新たな活動を紹介した。

第22年会では、産学官連携シンポジウムが「産学官の シナジーで達成する21世紀の品質保証」をテーマに開催 され、厚生労働省大臣官房審議官の黒川達夫氏から21世 紀の品質保証や規制動向が紹介されたほか, 国立医薬品 食品衛生研究所薬品部の川西徹氏、田辺製薬の山原弘氏、 塩野義製薬の齋藤泉氏, トリオファーマ・コンサルティ ングの服部宗孝氏、東邦大学の寺田勝英氏、奥羽大学の 宮嶋勝春氏、千葉大学の山本恵司氏から医薬品の品質保 証、ICHの動向、大学における医薬品品質に関する教育 などさまざまな観点から講演が行われた。